

教科 数学 科

科目	数学Ⅱ	学年・コース	2 学年	地域政策 情報 コース	単位数	3 単位	区分	必修
学習の目標		1. 数学の基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばす。 2. 数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。						
教科書		高校数学Ⅱ 新訂版（実教出版）						
補助教材等		高校数学Ⅱサブノート（実教出版）						
学期	月	学習内容			学習のねらい			時間
1	4	1章1節 式の計算			・ 整式の乗法、二項定理を理解する。			9
	5	1章2節 複素数と方程式			・ 複素数、2次方程式、剰余の定理、因数定理の理解を深める。			10
	6	1章3節 式と証明 2章1節 点と直線			・ 等式、不等式の証明を理解する。 ・ 平面上の直線の理解を深める。			10
	7	2章2節 円 2章3節 軌跡と領域			・ 円の方程式を理解する。			9
2	8	3章1節 三角関数			・ 三角関数の定義を確かにする。			6
	9	3章1節 三角関数のグラフ			・ 三角関数のグラフの性質をつかむ。			10
	10	3章2節 加法定理			・ 加法定理とその派生公式を使いこなせるようにする。			11
	11	4章1節 指数関数			・ 指数関数の性質を理解する。			11
	12	4章2節 対数関数			・ 対数関数の性質を理解する。			10
3	1	5章1節 微分係数と導関数 5章2節 微分法の応用			・ 微分法の概念を理解する。			10
	2	5章3節 積分法			・ 積分法の概念を理解する。			9

評価の観点	知識・技能	三角関数、指数対数関数や微積分法における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識ができたか。三角関数、指数対数関数や微積分法において、事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、的確に問題を解決できるか。
	思考・判断・表現	三角関数、指数対数関数や微積分法における数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることができるか。
	主体的に学習に取り組む態度	三角関数、指数対数関数や微積分法における考え方に興味をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用できるか。